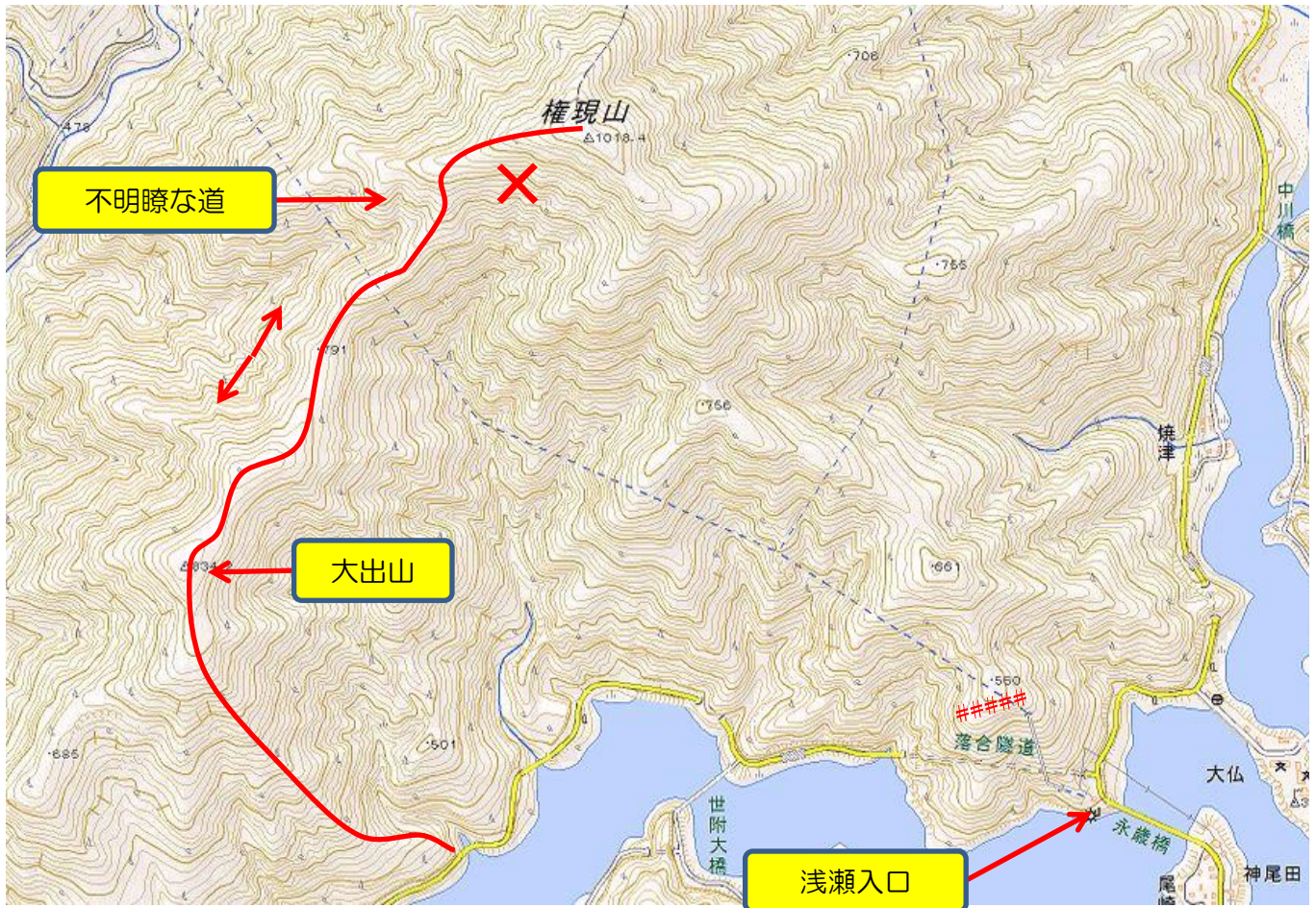


権現山遭難(2010年9月)

大出山から権現山をピストンする登山計画を立てるも不明瞭な道のため、下山で道に迷う。危険を感じたため12時ごろ電話で救助要請し事なきを得た。



解説

59歳男性は7時30分ごろ、大出山コースから権現山を目指した。登頂後、同コースを下山途中、道を見失い、寺ノ沢方面へ迷い込んだ。尾根と沢を行ったり来たりしているうちに疲労し、危険を感じたため12時ごろ電話で警察に通報した。警察署員が現場へ到着し、遭難者に同行して下山した。寺ノ沢を下降せず踏みとどまることができたため事故もなく救助されたと筆者は書かれている。

同ルート下降でも道に迷うことがよくある。これは、道がはっきりしない場合や枝尾根の下りに多い。「あれっ？おかしい？」と思い、沢と尾根を行ったり来たりして体力を奪われてしまう。そして、焦って沢を下って滑落。最悪のシナリオである。

道に迷って自信が無い場合、電波が届くのであれば、救助要請も選択肢の一つと思う。